
Mounting & Maintenance

取付けおよびメンテナンス

Oversize PulleyWheel System
for Shimano DA 9200



CERAMICSPEED

Maintenance

メンテナンスについて

Oversizes Pulley Wheel (OSPW) のメンテナンスを適宜行いましょう。頻度は走行される地域の気候により変わります。

摩耗したチェーンをそのまま使用すると、プーリーホイールも著しく摩耗するため、チェーンが摩耗する前に交換してください。OSPWの点検は、雨天時の走行、洗車、またはチェーンの潤滑後に行いましょう。通常のメンテナンスでは、潤滑部 (3ページを参照) にオイルを一滴垂らします。OSPWを水平に保ち、オイルをプーリー内のベアリングに届かせましょう。

CeramicSpeed取扱店またはウェブショップにてご購入いただけます。Ceramic-Speed.comのサポートページで、メンテナンスの紹介ビデオをご覧ください。

OSPWはバイク用トラベルバッグに適合しないため、遠征時にはリアディレーラーごと取り外して持ち運んでください。

Extended Maintenance

拡張メンテナンスについて

拡張メンテナンスを半年ごとに行いましょう。その際は、OSPWと左右両側のシールをディレーラーケーシングから取り外し、ディグリーザーで全てのパーツを洗浄します。その後、パーツを乾燥させ、CeramicSpeedのベアリング球にオイルを2滴垂らし、OSPWとシールを元の位置に取り付けます。

ケーシングプレートを取り外す際は、プーリーホイールボルト (3ページ参照) を2.5mmの六角レンチで、タワーボルトを2mmの六角レンチで緩めます。各ボルトを取り付ける際は、プーリーホイールボルトを1Nmで、タワーボルトを0.3Nmのトルクで締め付けます。その際はトルクレンチをお使いください。

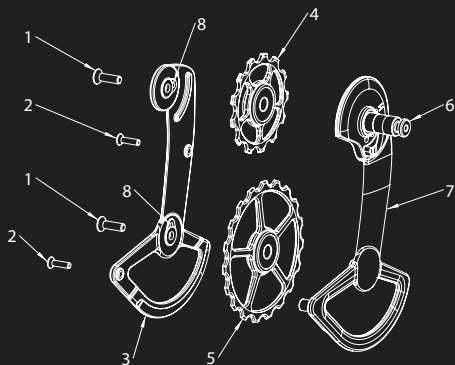
雨天時やマッドコンディションを走行した場合は、追加メンテナンスをより頻繁に行い、All Round Greaseで各部を確実に保護してください。

Mounting the CeramicSpeed Oversized Pulley Wheel System for Shimano DA 9200

展開図

Pos. 名称

- | | |
|---|--------------|
| 1 | プーリーホイールボルト |
| 2 | タワーボルト |
| 3 | バックケージプレート |
| 4 | アッパープーリー |
| 5 | ロワープーリー |
| 6 | ケージピボット |
| 7 | フロントケージプレート |
| 8 | プーリーホイールの潤滑部 |



必要なツール

CeramicSpeed Oversized Pulley Wheel DA 9200の取付けには以下のツールを使います。

A チェーンツール

B T10 Torx® レンチ



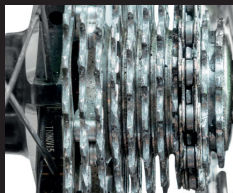
A

B

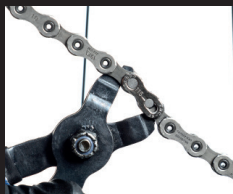
Mounting Manual

取り付け方法

最高の走行性能を発揮させるべく、OSPW(Shimano DA 9250用、ストップタワー内蔵)を以下の手順に正しく従って取り付けてください。



1. バイクをスタンドに固定し、リアホイールを取り外します。



2. チェーンツールでチェーンを外します。
OSPWを取り付ける場合には、新品の長いチェーンが必要です。使用済みのチェーンにリンクを追加することは推奨しません。



3. ディレーラー本体裏側にある黒色の取付用 T10 ボルトを T10 Torx レンチで外します。
ボルト全長の半分までねじが切られています。
ボルトを 1cm ほど緩め、ねじがかからなくなったら、指でボルトを引き抜きます。
ディレーラー本体のケージを親指で押さえます。



4. ディレーラーをケーブル接続部の上側まで移動させ、ストップタワーがフリーになるまでケージを片手でわずかに引き、プーリーケージのスプリングのテンションを解放させます。
このとき、ディレーラーケージの位置が上下逆さまになっているはずです。



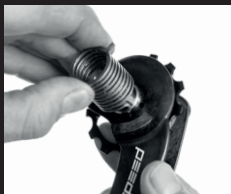
5. プーリーケージとスプリング一式を取り出します。プーリースプリングとプラスチックスペーサーを落とさないよう注意しましょう。



6. ケージからスプリングとプラスチックスペーサーを取り外します。スプリング端部のフックはプーリーケージに引っ掛かっています。スプリングとスペーサーはOSPWの取付け後も使用しますので、保管してください。



7. 元のスプリングとプラスチックスペーサーを、ケージから取り外したときの要領でOSPWの取付用ポストに合わせます。スプリングのフック側とスペーサーの平面側をOSPWに向けます。



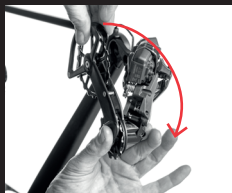
8. OSPWでは、H(ハイ)からL(ロー)まで4種類のスプリングテンションを選べます。Lにセットすると、チェーンのテンションとスプリングの抵抗が減り、変速性能もやや落ちます。Hにセットすると、最高の変速性能を得られますが、他のセッティングよりもスプリングの抵抗がやや増えます。



9. Lの隣にある穴(2番目に低いテンション位置)を選び、フックを引っ掛けてスプリングを取り付けます。このとき、強く押し込む必要があるかもしれません。プラスチックスペーサーは、ディレクター本体の裏側に合わせるまで、スプリングの上に載せておきます。



- 10.** ディレラー本体を回し、OSPWケージがバイク前方を向いた状態で、OSPWの取付用ポストをディレラー本体裏側に合わせます。スプリングとプラスチックスペーサーをディレラー本体の溝に合わせ、ケージをディレラーの奥まで押し込みます。OSPWケージが滑らかに回転し、スプリングが正しい位置にあることを確かめます。



- 11.** OSPWケージをディレラー本体に押し付けながら、ケージの突起がディレラー本体の突起を通り過ぎてから噛み合うまで、反時計方向(バイクの上側、後ろ側、下側の順)に回します。



- 12.** 手順3で取り外したT10ボルトを付け直し、ケージを固定します。
締付けトルクは1Nmです。
これでOSPWの取付けが完了しました。



- 13.** ディレラーをカセットのトップまで変速し、リアホイールを取り付けます。次ページの手順に従い、新しいチェーンを取り付けます。ディレラーハンガーが正しい位置にあることを確かめ、トップとロー側両方のリミット調整を行い、Bテンションボルトでローギアとアップパープーリーの間隔が4～7mmになるよう調整します。Di2のトリムでカセットの各ギアとプーリーホイールの位置を合わせます。不明な点がある場合は、プロメカニックに調整を依頼してください。

Chain length

チェーン長について

以下の手順に従い、現在のチェーン長を測り、必要に応じて交換しましょう。



STEP 1 チェーンをカセットのトップとフロントチェーンリングのローギアに変速します。チェーンを切って長さを合わせるときのように、チェーンの両端を引っ張り、適切なチェーン長かどうかを判断します。2番目の図のように、ケージの下側がカセットから離れる形で下方へ動かそうとするはずですが、



STEP 2 チェーンの両端を引っ張り、OSPWを2番目の図の位置に合わせてからチェーンを切り(手順1より1リンク分短い)、このギアの組み合わせ(常にカセットのトップにあること)に必要なチェーンテンションが得られる個数のリンクでチェーンをつなぎます。



STEP 3 チェーンを適切な長さに切ったらカセットのローギアに変速し、OSPWとの間隔を確認します。ケージを半時計方向（図の矢印の向き）に回せるはずですが。

OSPWのアッププリーとカセットのローギアには、ある程度の間隔が必要です。この間隔が不十分であれば、Bテンションボルトを調整します。

Spring tension

スプリングテンション

初期設定では、Lの隣の穴（2番目に低いテンション位置）を選びます。この位置は、テンションや抵抗の低さと変速動作のバランスに最も優れています。

変速のレスポンスが遅すぎる、およびまたは荒れた路面（石畳、グラベル、シクロクロスなど）を走る場合は、スプリングテンションをさらに高めます。